

比較家族史学会

会報 比較家族史 57

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付

比較家族史学会研究大会

二〇一一年度秋季大会

日時 二〇一一年一月五日(土)
会場 桃山学院大学二号館ハイビジョンシアター(二・三〇一教室)

〒五九四・一一九八 大阪府和泉市まなび野一・一
※泉北高速鉄道「和泉中央駅」下車、徒歩約二二分
<http://www.andrew.ac.jp/access/>
【大学への所要時間等は右のHPをご覧ください】

問い合わせ先 桃山学院大学国際教養学部 小池誠研究室

電話 〇七二五・五四・三三三ー(内線三七一〇)

メールアドレス koikema@andrew.ac.jp

参加費 一〇〇〇円(会員以外の方も同額)

※当日、学内食堂は営業していませんので、昼食は各自ご用意ください。なお、キャンパス付近にはコンビニと食堂があります。

◆プログラム

○受付開始 午前九時三〇分

○会長挨拶 高木侃(専修大学)

九時五〇分～一〇時〇〇分

〔自由報告〕

(自由報告一) 松崎瑠美(東北大学大学院文学研究科COEフェロー)

「近代における華族家の女性の地位と役割―島津家を事例として―」

一〇時〇〇分～一〇時四〇分

(自由報告二) 祐成保志(信州大学)

「ハウジングの社会学と家族史の接点」

一〇時四〇分～一一時二〇分

(自由報告三) 久保田裕之(大阪大学)

「家族というシェアハウス―共同生活の一般理論化に向けて―」

一一時二〇分～一二時〇〇分

○昼食休憩 一二時〇〇分～一三時〇〇分

〔ミニ・シンポジウム〕

「東南アジアにおける家族の変容」

司会 大野啓(佛敎大学)

(趣旨説明) 小池誠(桃山学院大学)

一三時〇〇分～一三時一〇分

(報告一) 山田直子(東北大学)

「インドネシア母系制村落社会における婚姻と家族の歴史―個人史からみる近代的家族像―」

一三時一〇分～一三時四〇分

(報告二) 木曾恵子(京都大学COE研究員)

「東北タイ農村における家族の『つながり』の

再検討―女性の移動と少子化時代の子(孫)育ての事例から」

一三時四〇分～一四時一〇分

(報告三) 小池誠(桃山学院大学)

「インドネシア・スンバの父系社会における

『家族』の多様性―家族圏再考―」

一四時一〇分～一四時四〇分

○休憩

(コメント一) 黒柳晴夫(相山女学園大学)

一五時〇〇分～一五時一五分

(コメント二) 未定

一五時一五分～一五時三〇分

(討論)

(総括) 一六時二〇分～一六時三〇分

閉会の辞 大会運営委員長・小池誠

◆ミニ・シンポジウム概要

「東南アジアにおける家族の変容」

東南アジアの家族について、人類学的観点より、その多様性が以前から指摘されてきた。東南アジア諸国では、父方または母方に偏ることのない双系的(Dualistic)と呼ばれる特徴を有し、東アジアのような単系親族集団をもたない社会が多くを占めている。一方で、父系または

母系的親族集団を有する社会も少数だが存在する。このシンポジウムでは、双系的な社会として東北タイの農村、また母系社会としてインドネシアのミンカンバウ、そして父系社会としてインドネシアのスンバを取り上げ、それぞれの社会における家族の変容を考えていきたい。ただし、双系・父系・母系という一般的に流布した分類では捉えきれない家族の特質を考えていきたい。

家族は、家族を取り巻く社会経済的条件のなかでつねに変化してきたし、また特に東南アジアにおいては、植民地支配またはその後生まれた国民国家との関係のなかで、いわゆる伝統的な家族は大きな変容を遂げた。山田報告は、二〇世紀前半のインドネシアの村落社会レベルにおける近代の受容を婚姻制度の点から取り上げ、現地エリート層による伝統的規範の再解釈が果たした役割を考察する。続く木曾報告は、東北タイ農村における女性の移動労働と子(孫)育てをめぐる社会関係の「つながり」の事例を検討し、急速に少子化に突入したタイ農村家族の変容を現代的視点から考察する。最後に、小池報告は、国家が規定する家族・世帯という概念とはズレをもつてスンバ社会に存在する、融通性をもった多様な世帯の構成について、その現代的意義を考える。

東南アジアの諸社会において近代化、さらにはグローバル化が進展するなかで、伝統的な規範を保持した家族とは異なる「近代的な家族」が多様な形で出現した。しかし、それらが必ずしも「近代家族」という概念では括れないことを明らかにしたい。

◆企画委員会からの連絡

二〇一二年度研究大会第五四回大会は、今年六月総会で知らされたように、京都大学にて落合恵美子運営委員長のお世話で開催されます。日程は二〇一二年六月一六日(土)、一七日(日)です。(廣嶋清志)

◆学会からの連絡

一 学会事務の委託について

九月一日から、学会事務を次のように委託します。学会への連絡は次の「連絡先」へお願いします。

(一) 委託先 株式会社大学生協事業センター

ター 大学生協学会支援センター

(二) 連絡先 宛先 大学生協学会支援センター

ター内 比較家族史学会

住所 〒一六六・八五三一 東京都杉

並区和田三・三〇・二二

電話 〇三・五三〇七・一一七五
ファックス〇三・五三〇七・一一九六
E-mail: hikakukazokushif@univcoop.
or.jp

(住所変更・所属変更・会費の状況
等の連絡・問い合わせは、この住所・
電話番号・e-mailアドレスを用いてく
ださい。)

(三) 主な委託内容 会費納入の管理、住
所・所属変更(会員名簿管理)、学会
の収入の管理、雑誌(年報)の在庫管
理

二 会費の値上げについて

- (一) 会費を三〇〇〇円から次のように値上
げします。
- 一般会員 五〇〇〇円
 - 院生会員 三〇〇〇円
 - 六五歳以上会員 三〇〇〇円
 - 終身会員 一〇年以上継続して会員で
あったことを前提として
六五歳以上は 三〇〇〇〇円
七〇歳以上は 二〇〇〇〇円
七五歳以上は 一〇〇〇〇円(七五歳
以上については経過措置 三年間)
- を納入することによって、終身会員と

します。

(二) 院生会員 会費の納入時、学生証のコ
ピーを「センター」に送付してくださ
い。

(三) 会費値上げによる新しい事業の展開

- ① 事務の委託(「二」「三」を参照)、
 - ② 研究大会の充実(学会の前にレジュメ
集を作成・配布；配布の方法は未定)、
 - ③ 学会の活性化(「二」世紀家族データ
ブックの刊行)
 - ④ 組織の改編
- 以上の四点をはかります。

三 学会の新体制

会長 高木 侃(企画：当面は、会長
副会長全員で担当)

副会長 森 謙二(庶務・渉外担当)
八木 透(出版・編集)

企画委員 廣嶋清志(委員長) 米村千代
(副委員長) 村上聡 堀田幸義

編集委員 小池誠 若尾祐司 服藤早苗 山
田昌弘 奥山恭子 床谷文雄
牧田勲(委員長) 平井晶子 若
尾典子

書評・文獻 太田素子 大野啓(服藤早
苗) 奥井亜佐子 西岡八郎 白
石玲子 黒柳晴夫 森本一彦

JST 小玉亮子 岡田あおい 永野由紀

渉外委員 小島宏(委員長) 森本一彦
落合恵美子 三成美保 戒能民江

庶務委員 小玉亮子(委員長) 奥井亜紗
子

特別委員会(仮) 二世紀家族データブック
編集委員 小谷真男 米村千代
椎名若菜 堀田幸善 國方敬司
小玉亮子 小池誠(服藤早苗)
太田素子 森本一彦

(一) 事務の委託にともない、従来の事務局
長体制は廃止します。

(二) 二世紀家族データブック(仮) 編集
委員会の設置は、大枠についての了解
を得ておりますが、詳細については後
日報告いたします。委員の数は最終的
には、一〇名を超えることになると思
われます。

(三) 会長・副会長を中心に全体の運営を行
い、副会長はそれぞれ仕事の分担を行
います。委員会の開催は頻繁に行うこ
とができないので、会長・副会長は定
期的に会合をもち、必要に応じて委員
会の委員長にも参加いただき、学会を
運営していくこととします。

(四)

現実には試行錯誤を繰り返しながら、学会の体制を整えていきたいと考えています。

四 『二世紀・家族データブック(仮)』の刊行について(企画書からの抜粋)

(一) 刊行の趣旨と意義 「事典 家族」の刊行から一七年近くの時間が経過した。この間に、家族を取り巻く環境も大きく変化し、家族自体も大きな変貌を遂げた。(第二の近代)(あるいはポストモダンとも呼ばれる)における家族の変化は、世界的に見ても先進諸国になかからずから展開し、近年では東南アジアや韓国や中国でも近年急速に展開するようになった。家族の解体や家族の個人化と呼ばれる現象、グローバル化のなかでの家族の変貌、少子化や高齢社会の展開、日本でも一九九〇年までに起こらなかった現象がさまざまな姿をとって起こるようになった。このように激動する家族の状況を、比較家族史学会ならではの学際的力を結集し、新しい現象を新しいデータと新しい用語を中心にとまとめることは、社会的にも学問的にも意味のあることだと考えている。

(二) 本の内容 変動する家族を中心に全体を二〇程度の領域に区分し、新しい研究動向を踏まえた上で、地域の比較と新しい家族現象について歴史とデータを踏まえて解説し、新しい用

語について事典的な解説を加える。テーマの例示 ①近年の「家族の個人化」現象との関連 ②少子高齢化社会に対応する問題(政策の展開と地域(外国)における傾向)、③グローバルゼーションと家族(国際結婚・移民) ④福祉政策(年金制度の動揺・子ども手当・介護保険など) ⑤子どもへの虐待・家庭内暴力 ⑥ジェンダー論の展開 ⑦生殖医療の展開 ⑧孤独死・無縁社会に関わる問題 ⑨新しい葬送 等等

(三) 編集委員会 この編集委員会を九月から一〇月の早い時期に発足させ、本格的に準備にかかりたい。この企画は、本会の活性化を大きな目的としているので、できるだけ多くの会員に執筆・編集につきご協力をお願いしたい。なお、この編集については、八木透副会長が全体の責任者となる予定。

今回の『二世紀 家族データブック』は、『事典 家族』の追補版という性格も持っています。その『事典 家族』はもう残部が一〇〇部程度しかありません。今後増刷も難しいと思いますので、早めの購入をお願いいたします。

◆理事会報告

(理事会議事録)

場所…お茶の水女子大学 本館 一階

一三五室

新旧理事出席者…大野、奥山、戒能、國方、黒

柳、小池、小島、小谷、小玉、高木、

床谷、西岡、服藤、牧田、三成、森、

森本、若尾(祐)

新理事出席者…岡田、村山、廣嶋、米村

委任状…三名、(旧理事からの委任状 三名)

○旧理事会議事録 二〇一一年六月二四日

報告事項

一 会員移動について

二〇一〇年度 入会者五名、退会者二一

人、会員数四〇六名(三月三十一日現在、連

絡先不明者を除く)。昨年度会費納入総額

一三三七九一八円(海外からの送金、複数年度

納入・団体会員を含む、手数料二二〇円学会負

担)

審議事項

一 新入会員・退会希望会員

新入会員 斉願賢(専修大院・社会学)、田

中智子(仏教大・社会福祉学)、金松花(奈良

女子大院・社会学)、吉村さやか(聖心女子大

院・社会学)、坂詰智美(専修大・日本法制史)、

山下重希子(宮崎大・家族社会学)、高橋一彦

(神戸市外大・ロシア法史)、梅津綾子(名古屋

大院・文化人類学)の入会が承認された。

退会希望(玉里恵美子、伴栄子、前田俊子、森

谷裕美子、清水昭俊、見崎恵子、高田京比子、

菊地靖、北條浩、小松津根子)の退会が承認さ

れた。

二 機関リポジトリへの登録について

文教大学より、福田はぎの教授執筆分「家

計」「家計調査」「家計簿」「家政」「家政学」

『事典 家族』機関リポジトリ登録の可否につ

いての問い合わせがあったことについて審議し、

著作権の問題があるので、弘文堂に問い合わせ

から再度検討することとなった。

三 二〇一〇年度会計決算および会計監査の結

果について 承認された。

前号の会報の訂正

新理事リストから吉野晃先生のお名前を除いて

ください。

○新理事会議事録 二〇一一年六月二四日

審議事項

一 新理事会の体制について(学会からの連絡

参照) 承認された。

二 会費値上げについて(詳細 学会からの連

絡 参照) 承認された。

一般 五〇〇〇円

院生会員 三〇〇〇円

終身会員 一〇年以上継続して会員であった

ことを条件として、

六五歳以上は 三〇〇〇〇円、

七〇歳以上は 二〇〇〇〇円、

七五歳以上は 一〇〇〇〇円

(七五歳以上については経過措

置 三年間)を納入することに

よって、終身会員とする

三 事務の委託について 承認された。

(一) 事務委託を、大学生協学会支援セン

ターにおこなう。

(二) 現在のところ、委託料は四三万五〇〇

〇円であるが、これから交渉に委ねら

れる部分もあるので、委託先を含めて、

別紙にある基本的な条件を前提にしつ

つ、詳細については会長に一任して欲

しい。

(三) 業務委託の開始時期は、本年年九月一

日を予定している(早まる可能性あ

り)。

四 研究大会の充実 承認された。

(一) 研究大会の前(会報発送時)に、レ

ジュメ集を作成し、研究大会開催連絡

の会報とともに発送する。

(二) 報告者・司会者には、最低限度一度

の打ち合わせ会を行い、大会の内容を

充実させる。

(三) テーマの設定について、比較家族史学

会らしい、家族をテーマとした「比

較」と「史的展開」の双方を内包した

ものとする。

五 学会の活性化のための出版(『事典 家族』補遺版) 承認された。

学会の活性化のために、若手を中心として、

『事典 家族』の追補版を編集し、出版する。

できれば、この事業もまた、学会創立三〇周

年記念事業として位置付けたい。この点につい

て、弘文堂と交渉を行う。秋の学会までの間に、

編集委員および追補版の概要を決める。

現在の予定 二〇一一・一二年 項目の選定・

執筆者の依頼

二〇一三・一四年 原稿集めと出

版

六 組織の改編と規約の改正

事務局長体制をやめ、会長・副会長・各種委

員会委員長を中心に、責任と事務量の分散と迅

速な行動をとれる体制を構築する。その他につ

いては今後検討する。

七 学術振興会HPサーバー停止に付き、新しいHPの開設について 承認された。

◆総会議事録

場所…中央大学

日時…二〇一一年六月二五日

新・旧会長の会長挨拶の後、

一 事務委託について(詳細な内容・「学会からの連絡」を参照) … 承認された。

二 会費の値上げについて(詳細な内容・「学会からの連絡」を参照) … 承認された。

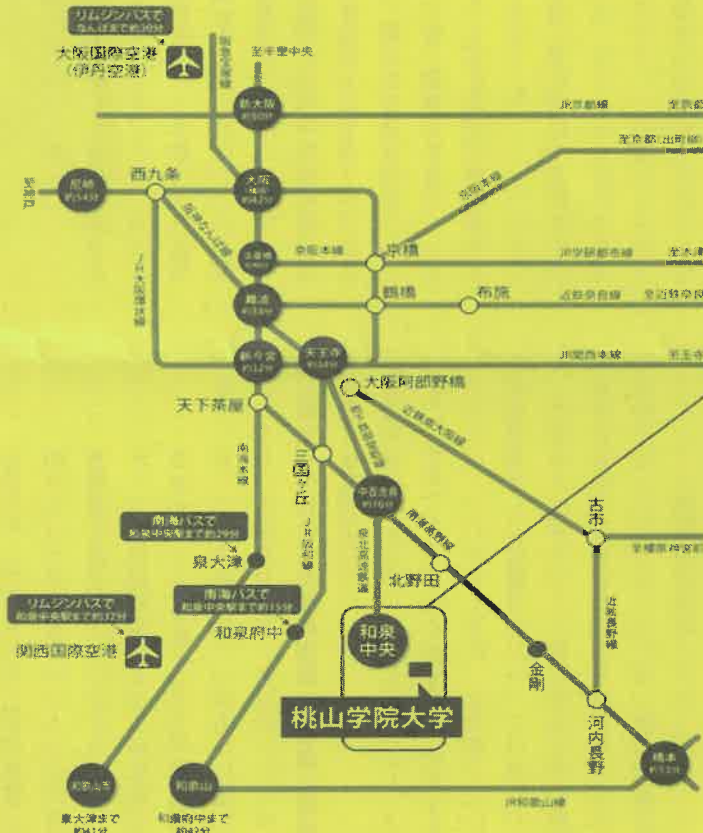
三 決算・承認、予算(暫定) … 七月一三日付け「お知らせ」で報告済

た。

四 その他 … 副会長、各委員長(「学会からの連絡」を参照)二〇一二年度春の研究大会は京都大学を予定。

… 副会長、各委員長(「学会からの連絡」を参照)二〇一二年度春の研究大会は京都大学を予定。

交通アクセス



アクセスマップ



「和泉中央駅」から徒歩で約12分

※時刻については電車時刻のみ。2011年4月現在。
 詳しい時刻については各自の確認ください。
 「東大津」「和泉府中」「和泉中央」「金剛」駅より
 大学直通通学バス(在学生のみ対象)が運行しています。